資料２－２

第4次食育推進基本計画の実施を推進する施策

１　家庭における食育の推進

２　学校、保育所等における食育の推進

３　地域における食育の推進

４　食育推進運動の展開

５　生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等

６　食文化の継承のための活動への支援等

７　食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進

第4次計画の関係項目① （第3　食育の総合的な促進に関する事項）
1. 家庭における食育の推進
2. 学校、保育所等における食育の推進
3. 地域における食育の推進
4. 食育推進運動の展開
5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等
6. 食文化の継承のための活動への支援等
7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進

第4次計画の関係項目① （具体的な目標値）
①　食育に関心を持っている国民の割合
②　朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数
③　地域等で共食したいと思う人が共食する割合
④　朝食を欠食する子供の割合
⑤　朝食を欠食する若い世代の割合
⑥　栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数
⑦　学校給食における地場産物を使用する割合を現状値から維持・向上した都道府県の割合
⑧　学校給食における国産食材を使用する割合を現状値から維持・向上した都道府県の割合
⑨　主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合
⑩　主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合
⑪　1日当たりの食塩摂取量の平均値
⑫　1日当たりの野菜摂取量の平均値
⑬　1日当たりの果物摂取量の100g未満の者の割合
⑭　生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合
⑮　ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合
⑯　食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数
⑰　農林漁業体験を経験した国民（世帯）の割合
⑱　産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合
⑲　環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民の割合
⑳　食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合
㉑　地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している国民の割合
㉒　郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている国民の割合
㉓　食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合
㉔　推進計画を作成・実施している市町村の割合

１．家庭における食育の推進

担当省庁	４次計画の関係項目①	４次計画の関係項目②	取組の名称	取組の内容（予算額等）	取組の実績
文部科学省	1. 家庭における食育の推進	②④	家庭教育支援基盤構築事業	【令和４年度】 ・ 地域の多様な人材を活用した家庭教育支援チーム等による保護者への、子供の生活習慣や食育を含む学習機会の提供など、地域の実情に応じた家庭教育支援の取組を推進する。 （令和４年度予算額　７５百万円）	【令和３年度】 ・ 地域の多様な人材を活用した家庭教育支援チーム等による保護者への、子供の生活習慣や食育を含む学習機会の提供など、地域の実情に応じた家庭教育支援の取組を推進。 地方公共団体数：546か所が申請・取組を実施中
文部科学省	1. 家庭における食育の推進	②④	「早寝早起き朝ごはん」フォーラム事業・推進校事業	【令和４年度】 ・ 国立青少年教育振興機構と連携・協力し、「早寝早起き朝ごはん」国民運動を促進するための地域のフォーラム事業、中高生の基本的な生活習慣の維持・向上、定着を図るための推進校事業を実施する。 （令和４年度予算額　－百万円）（国立青少年教育振興機構の予算で実施）	【令和３年度】 ・ 国立青少年教育振興機構と連携・協力し、「早寝早起き朝ごはん」国民運動を促進するための地域のフォーラム事業、中高生の基本的な生活習慣の維持・向上、定着を図るための推進校事業を実施。 フォーラム事業：３か所 推進校事業：１０か所
厚生労働省	1. 家庭における食育の推進	②④⑨⑩	成育基本法を踏まえた「健やか親子21」による母子保健活動の推進	【令和４年度】 ・ 成育基本法の趣旨を踏まえつつ、「健やか親子21（第2次）」（21世紀の母子保健の取組の方向性を提示すると同時に、目標値を設定し、関係機関・団体が一体となって推進する国民運動計画）による母子保健活動の推進を行う。 （令和４年度予算額　３４百万円）	【令和３年度】 ・令和４年２月に「健やか親子２１」の公式ウェブサイトのリニューアルを行い、成育基本法についての解説を加えたほか、研究の成果物等をまとめて掲載する等、情報発信を行った。 ・食育を含む母子の健康増進を目的とする優れた取組を行う企業・団体・地方公共団体の表彰を行った。

2. 学校、保育所等における食育の推進

担当省庁	4次計画の関係項目①	4次計画の関係項目②	取組の名称	取組の内容（予算額等）	取組の実績
文部科学省	2. 学校、保育所等における食育の推進	⑥⑦⑧	学校給食地場産物使用促進事業	【令和4年度】 ・学校給食における地場産物の使用に当たっての課題解決に資するための経費を支援する。 （令和4年度予算額　46百万円）	【令和3年度】 学校給食における地場産物の使用に当たっての課題解決に資するため、学校側や生産・流通側の調整役として仕組みづくりを担うコーディネーターの配置に必要となる経費等の支援を行った。
文部科学省	2. 学校、保育所等における食育の推進	⑥⑦⑧	給食・食育の諸課題に関する調査研究等	【令和4年度】 ①第4次食育推進基本計画で求められている食品ロス（SDGs）等に関し、栄養教諭が中核となり取り組んだ事例を収集し、課題等を調査する。 ②各都道府県教育委員会の学校給食の衛生管理に関する指導者に対して研修を実施するとともに、当該指導者を学校給食施設に派遣して衛生管理の改善指導を実施する。 （令和4年度予算額　32百万円）	【令和3年度】 ①全都道府県・政令指定都市教育委員会、市区町村教育委員会における栄養教諭に期待する職務や役割等を調査し、全国の実態や課題等を把握した。 ②各都道府県教育委員会の学校給食の衛生管理に関する指導者に対して研修を実施したとともに、当該指導者を学校給食施設に派遣して衛生管理の改善指導を実施した。
文部科学省	2. 学校、保育所等における食育の推進	－	学校施設環境改善交付金（学校給食施設整備）	【令和4年度】 ・　学校給食の普及充実及び安全な学校給食の実施を図るため、衛生管理の充実強化等に必要な学校給食施設の整備に対する補助を行う。 （令和4年度予算額　68,834百万円の内数）	【令和3年度】 ・　学校給食の普及充実及び安全な学校給食の実施を図るため、衛生管理の充実強化等に必要な学校給食施設の整備に対する補助を行った。
環境省	2. 学校、保育所等における食育の推進	⑳	食品ロス削減及び食品廃棄物等の3R促進事業費	【令和4年度】 ・　学校給食から排出される食品廃棄物の3Rの実施及び当該3Rの取組を題材とした食育・環境教育活動の実施等について、地方自治体を支援する。学校において食育・環境教育を実施することは給食の食べ残し等の食品ロスの削減に資すると考えられ、食品ロス削減に関する普及啓発の観点からも、学校において食品ロス削減に係る取組を行うことは重要である。このため、学校給食から排出される食品廃棄物の3Rの実施及び当該3Rの取組を題材とした食育・環境教育活動の推進策の検討や食品ロス削減の取組の普及啓発を行い、その効果検証を行う地方自治体を支援する。 （令和4年度予算額　127百万円の内数）	【令和3年度】 学校給食から排出される食品廃棄物の3Rの実施及び当該3Rの取組を題材とした食育・環境教育活動の推進策の検討や食品ロス削減の取組の普及啓発を行い、その効果検証を行った。
農林水産省	2. 学校、保育所等における食育の推進	⑦⑧	水産バリューチェーン事業のうち流通促進・消費等拡大対策事業	・水産加工業者等が、学校給食向け加工品を開発する取組への支援（水産庁） ・学校給食関係者等に対する、給食での国産水産物の利用を促進するノウハウの提供等を目的とする魚食普及のためのセミナー等の開催への支援（水産庁）	【令和3年度】 ・水産加工業者等が、学校給食向け加工品を開発する取組を2件支援 ・学校給食関係者等に対する、給食での国産水産物の利用を促進するノウハウの提供等を目的とする魚食普及のためのセミナー等を3回開催

３．地域における食育の推進

担当省庁	４次計画の関係項目①	４次計画の関係項目②	取組の名称	取組の内容（予算額等）	取組の実績
厚生労働省	３．地域における食育の推進	⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑯	国民健康づくり運動の推進（「健康日本21（第二次）」）	【令和４年度】 ・　平成25年度からの「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動（健康日本21（第二次））」について、国民の自主的な参加による国民運動として、普及推進を図るとともに、国民の身体状況や食生活等の状況を明らかにする国民健康・栄養調査の実施、最新の科学的根拠に基づく食事摂取基準の策定など、健康増進の総合的な推進を図る。 （令和４年度予算額　775百万円）	【令和３年度】 ・国民の生活習慣を改善し、健康寿命をのばすための運動「スマート・ライフ・プロジェクト」が掲げる4つのテーマ（適度な運動、適切な食生活、禁煙、健診・検診の受診）を中心に、従業員や職員、住民に対して、生活習慣病予防の啓発、健康増進のための優れた取組等をしている企業、団体、自治体の表彰を行った。 ・広く国民の理解を深めるため、e-ヘルスネット等をとおして情報発信を行った。
厚生労働省	３．地域における食育の推進	⑮	8020運動・口腔保健推進事業	【令和４年度】 ・　都道府県が実施する歯の健康づくりのために行われる地域の実情に応じた歯科保健医療事業の円滑な推進を支援する。 （令和４年度予算額　８１１百万円の内数）	【令和３年度】 「食育推進等口腔機能維持向上事業」において、補助対象を市町村に拡充し、都道府県等の取組の支援。
厚生労働省	３．地域における食育の推進	③	子どもの生活・学習支援事業	【令和４年度】 ・　放課後児童クラブ等の終了後に、ひとり親家庭の子どもに対し、悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援、食事の提供等を行い、ひとり親の家庭の子どもの生活向上を図る自治体の取組を支援する。 （令和４年度予算額　16,004百万円の内数）	【令和３年度】 現時点において各自治体で事業実施中であり、具体的な取組実績については、各自治体からの報告により、来年度末以降に判明する予定。
厚生労働省	３．地域における食育の推進	③	ひとり親家庭等の子ども食事等支援事業	【令和３年度】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により困窮するひとり親家庭を始めとした要支援世帯の子ども等を対象とした子ども食堂、子ども宅食、フードパントリー等を実施する事業者を対象として広域的に運営支援、物資支援等を行う民間団体（「中間支援法人」）を公募し、その取組に要する経費を助成することにより、子どもの貧困や孤独・孤立への緊急的な支援を行う。 （令和３年度補正予算額　2,208百万円）	【令和３年度】 現時点において各民間団体で事業実施中であり、具体的な取組実績については、各民間団体からの報告により、来年度以降に判明する予定。
厚生労働省	３．地域における食育の推進	⑪⑫	健康的な生活習慣づくり重点化事業	【令和４年度】 地域、職域、学校等の身近なところで、肥満・糖尿病予防等に関する事業を総合的に実施するとともに、地域に根ざした信頼や社会規範、ネットワークといった社会関係資本等（ソーシャルキャピタル）を醸成し、住民参画型の地域のボランティアを活用する主体的かつ自由な発想に基づく健康づくり対策を実施することにより、効果的な生活習慣の改善による健康増進を図る。 （令和４年度予算額　３７百万円）	【令和３年度】 健康づくり対策を実施することにより、効果的な生活習慣の改善による健康増進を図るため、「たばこ対策促進事業」「糖尿病予防戦略事業」「地域の健康増進活動支援事業」「受動喫煙対策推進事業」を実施した。
農林水産省	３．地域における食育の推進	③⑥⑦⑧⑨⑩⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉔	消費・安全対策交付金のうち地域での食育の推進	【令和４年度】 ・第４次食育推進基本計画に掲げられた目標達成に向けて、地域の関係者が連携して取り組む食育活動を重点的かつ効率的に推進する。その際、多世代交流や共食の場の提供等に関する取組、食育推進基本計画の重点事項であるデジタル化に対応した食育を優先的に支援する。 （令和４年度予算額　消費・安全局交付金のうち地域での食育の推進　2,041百万円の内数）	【令和３年度】 ・食育推進基本計画に掲げられる目標のうち、農林漁業体験機会の提供等当省関係の目標達成に向けて、地域の関係者が連携して取り組む食育活動を重点的かつ効率的に推進。 （令和３年度：食料産業・６次産業化交付金のうち地域での食育の推進）
農林水産省	３．地域における食育の推進	⑨,⑫	「野菜を食べよう」プロジェクト	【令和４年度】 ・「野菜を食べようプロジェクト」野菜の消費拡大に取り組む事業者を「野菜サポーター」として認定し、専用ポスターやロゴマークを利用して野菜摂取の重要性、国内農業への理解促進を図る取組を実施。 また、一般消費者向けに、野菜が旬な時期にお手頃価格簡単メニューを、小売り、食品企業等とも連携し、ホームページやSNS等を通じて情報発信。	【令和３年度】 ・お手頃な価格となっている野菜のレシピ情報をSNS（Twitter,Facebook）やホームページを通じて発信し、野菜の消費拡大を促進。 ・プロジェクトに賛同し、野菜の消費拡大に取組む事業者を「野菜サポーター」としてホームページで紹介。 ・野菜サポーターの販売する商品や使用する販売促進資材に貼付・活用するため、当プロジェクトのロゴマークと新たなポスターを作成し、野菜消費の必要性をPR。

農林水産省	3. 地域における食育の推進	⑨	スマイルケア食の普及推進	【令和4年度】 スマイルケア食の普及をより一層推進するため、展示会等を活用し、スマイルケア食の概要の説明、商品紹介、パンフレットの配布等を実施し、スマイルケア食の普及推進を図る。	【令和3年度】 スマイルケア食の普及をより一層推進するため、展示会等を活用し、スマイルケア食の概要の説明、商品紹介、パンフレットの配布等を実施し、スマイルケア食の普及推進を行った。
経済産業省	3. 地域における食育の推進	⑤⑨⑩⑪⑫⑬⑭	ヘルスケアサービス社会実装事業	【令和4年度】 健康経営の推進・発展 企業が従業員の健康に経営的視点から取り組む、健康経営を発展させる。具体的には、健康経営に係る顕彰制度の推進とともに、健康経営の効果検証等を行い、健康経営のすそ野拡大及び質的向上を図り、健康への投資を促進する。 ※左記事業の内数にて実施 （令和4年度予算額　750百万円の内数）	【令和3年度】 健康経営度調査の実施、健康経営銘柄の選定及び健康経営優良法人認定制度の運営等を通じて、健康経営のすそ野拡大及び質的向上を図り、健康への投資を促進した。
内閣府	3. 地域における食育の推進	③	子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事	【令和4年度】 地域の実情を把握するための実態調査・計画策定、関係行政機関やNPO等民間団体との連携体制の整備、子供の居場所づくり等の子供の貧困対策を実施する地方公共団体を地域子供の未来応援交付金により支援する。 （令和4年度予算額　296百万円の内数）	【令和3年度】 コロナ禍において、より深刻となった貧困世帯の子供を支援するとともに、子供が孤独・孤立に陥らないようにするため、子ども食堂や学習支援といった子供の居場所づくりをNPO等への委託等により整備する地方公共団体に対して、「地域子供の未来応援交付金」の補助率を最大10分の10に引き上げ、緊急支援を行った。
内閣府	3. 地域における食育の推進	③	子供の未来応援基金による支援	【令和4年度】 引き続き、企業や個人から広く寄付を募るとともに、貧困による困難を抱えた子供たちを支える草の根の団体への支援を継続していく。	【令和3年度】 子供の未来応援基金の創設以来、企業や個人から広く寄付を募り、貧困による困難を抱えた子供たちを支える草の根の団体への支援を行っており、令和3年度には、子ども食堂や学習支援など貧困の状況にある子供たちに寄り添った活動を行う96のNPO法人等の団体に支援を行った。

４. 食育推進運動の展開

担当省庁	４次計画の関係項目①	４次計画の関係項目②	取組の名称	取組の内容（予算額等）	取組の実績
農林水産省	４. 食育推進運動の展開	全ての目標値	食育活動の全国展開事業委託費	【令和４年度】 ・第４次食育推進基本計画に基づき食育推進全国大会の開催やデジタルを活用した食育を促進するための取組等を行い、食育の全国展開を図る。 （令和４年度予算額　６７百万円）	【令和３年度】 ・食育推進全国大会、食育活動表彰、全国食育推進ネットワークの活用等を実施
	４. 食育推進運動の展開	全ての目標値	「食育月間」の実施	・「食育月間」実施要綱を定め、関係者の緊密な連携・協働を図りつつ、食育推進運動を重点的かつ効果的に実施することにより、国民の食育に対する理解を深め、食育推進活動への積極的な参加を促し、一層の充実と定着を図る。 ・「食育月間」中、「食育推進全国大会」を毎年開催して、食育について国民への直接的な理解促進を図るとともに、関係者相互間の連携が推進されるよう実施。 ・食育活動の全国展開事業委託費 （令和４年度予算額　６７百万円の内数）	【令和３年度】 ・関係府省庁、地方公共団体、関係機関・団体等様々な主体において、講習会、展示会、調理や生産棟の対決活動等の食育をテーマとした行事等を全国各地で開催。 ・食育ガイド、食事バランスガイド等を活用した普及・啓発 ・農林水産省と岩手県との共催により6月26日、27日に「第16回食育推進全国大会inいわて」を、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によりオンラインに変更し開催。（プログラム配信：17） ・11月までの毎月19日（食育の日）に全国大会関連行事として、シンポジウムや郷土料理教室等の各種コンテンツを追加配信。（追加配信：10） ・11月13日（土）に学校給食シンポジウム（オンライン）を開催し、学校給食における地場産物活用の効果や課題、解決手法などについて、先進事例の紹介やパネルディスカッションを実施。 　参加：234名
	４. 食育推進運動の展開	全ての目標値	「食育活動表彰」の実施	・教育関係者、農林漁業者、食品関連事業者、ボランティア等の民間等の食育関係者が自発的に行う活動が展開されるよう、民間等の食育活動に対する表彰を実施。 ・食育活動の全国展開事業委託費 （令和４年度予算額　６７百万円の内数）	【令和３年度】 ・第5回食育活動表彰を実施。「第16回食育推進全国大会inいわて」において表彰する予定であったが、全国大会がオンラインに変更になったため表彰式は中止。 ・受賞者の紹介動画、事例集を作成し情報発信を行った。 　農林水産大臣賞：６ 　消費・安全局長賞：10
	４. 食育推進運動の展開	全ての目標値	全国食育推進ネットワークの活用	・行政や企業・団体、農林漁業者、教育関係者、ボランティア、個人などが連携・協働して、イベントや取組情報の発信、参加者同士のマッチングや交流の場の提供、フォーラム開催などを実施。 ・食育活動の全国展開事業委託費 （令和４年度予算額　６７百万円の内数）	【令和３年度】 ・新規会員加入促進や会員間の交流を目的としたミニセミナー&サロン、食育推進フォーラム等を開催。 　幹事会：3回 　ミニセミナー&サロン：3回 　企業交流ゼミ：3回 　食育推進フォーラム2022：1回
	４. 食育推進運動の展開	㉔	市町村食育推進計画の作成・見直しの支援	・市町村食育推進計画の作成・見直しの支援についての都道府県への周知 ・「食育推進に関する参考資料」として市町村食育推進計画に役立つ資料をホームページから情報発信	【令和３年度】 ・都道府県・政令指定都市の食育担当者に対してオンライン会議システムを活用して意見交換を実施。 ・地方農政局等において支援
農林水産省	４. 食育推進運動の展開	⑱	水産バリューチェーン事業のうち流通促進・消費等拡大対策事業	【令和４年度】 ・　加工・流通業者等が、連携して販路開拓等の様々な課題に対処する取組等を支援。併せて、消費者への魚食普及を推進する取組を支援する。 （令和４年度予算額　591百万円の内数）	【令和３年度】 ・加工・流通業者等が、連携して販路開拓等の様々な課題に対処する取組を9件支援 ・消費者への魚食普及を推進する取組として、おうちでFish-1グランプリの開催を支援

５．生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等

担当省庁	4次計画の関係項目①	4次計画の関係項目②	取組の名称	取組の内容（予算額等）	取組の実績
農林水産省	5．生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	③⑥⑦⑧⑨⑩⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉔	消費・安全対策交付金のうち地域での食育の推進	【令和４年度】 ・第４次食育推進基本計画に掲げられた目標達成に向けて、地域の関係者が連携して取り組む食育活動を重点的かつ効率的に推進する。その際、多世代交流や共食の場の提供等に関する取組、食育推進基本計画の重点事項であるデジタル化に対応した食育を優先的に支援する。 （令和４年度予算額　消費・安全局交付金のうち地域での食育の推進　2,041百万円の内数）	【令和３年度】 ・食育推進基本計画に掲げられる目標のうち、農林漁業体験機会の提供等当省関係の目標達成に向けて、地域の関係者が連携して取り組む食育活動を重点的かつ効率的に推進。 （令和３年度：食料産業・６次産業化交付金のうち地域での食育の推進）
総務省 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 文部科学省 農林水産省 環境省	5．生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑰	都市・農山漁村の地域連携による子供農山漁村交流推進モデル事業	【令和４年度】 ・　子ども農山漁村交流の取組の拡大、定着を図るため、送り側・受入側の地方公共団体双方が連携して行う実施体制の構築を支援するモデル事業を実施 （令和４年度予算額　１８百万円）	【令和３年度】 新型コロナウイルス感染症の影響等により、地方公共団体からの応募がなかったため、取組実績なし。
農林水産省	5．生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑰⑱	農山漁村振興交付金	【令和４年度】 ・　農山漁村が持つ豊かな自然や「食」を活用した都市と農村との交流等を推進する取組や「農泊」を推進する取組や、農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用し新事業や付加価値を創出する農山漁村発イノベーションを推進する取組等を総合的に支援し、農山漁村の活性化を推進する。 （令和４年度予算額　9,752百万円の内数）	【令和３年度】 　農山漁村の活性化と所得向上を図るため、地域における実施体制の構築、観光コンテンツの磨き上げ、ワーケーション対応等の利便性向上、滞在施設等の整備等を一体的に支援するとともに、地域が抱える課題解決のための専門家派遣等を支援
農林水産省	5．生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑦⑧	食料産業・６次産業化交付金のうち６次産業化の推進支援事業	直売所の売上げの向上に向けた多様な取組、農林漁業者と多様な事業者が連携して行う地産地消等の取組を支援する。 【令和４年度】 農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）において実施	【令和３年度】 ＜直売所＞ 運営体制強化及び経営改善を図るための検討会・研修会の開催、集出荷システムの構築
農林水産省	5．生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑦⑧⑱	地域の食の絆強化推進運動事業	地産地消の推進により、地域の活性化を図るため、病院、福祉施設、企業、学校、地方自治体、ＪＡ、給食事業者等の施設給食における地場産農林水産物の利用拡大に向けた指導・助言や生産者側とのニーズ・課題の調整、供給体制の整備等を支援する地産地消コーディネーターの育成・派遣を支援する。 【令和４年度】 農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）において実施	【令和３年度】 （１）育成 ・対面研修会：令和３年11月24日 ・インターネット動画配信：令和３年12月中旬～令和４年３月末（６本程度） （２）派遣 ・派遣箇所数：全国10地域
農林水産省	5．生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑰⑱⑲⑳㉑㉒	ニッポンフードシフト	・食と環境を支える農業・農村への国民の理解と共感・支持を得るため、メディア・SNS等を活用したストーリー性のある情報発信を展開するとともに、首都圏・地方におけるシンポジウム・フェアを開催。 ・ニッポンフードシフト総合推進事業委託費 （令和４年度概算決定額１００百万円、「令和３年度国民運動総合推進事業（１１４百万円）」の継続）	【令和３年度】 ・令和３年７月に公式WEBサイトを開設。７月以降順次、全国の生産者や事業者の取組を取材し計31事例を公開。 ・令和３年10月に東京でシンポジウム・フェアを開催（来場者数2,407人）。 ・令和３年12月にテレビ東京と連携した高校生対象の食に関するプレゼンコンテストを放映（全国の高校生299チーム参加）。 ・令和３年12月から、吉本興業と連携した動画配信を開始（令和４年１月末時点で計８本の動画を公開）。 ・令和４年１月に47都道府県の新聞社と連携した若手農業者の取組紹介を実施（計55紙に掲載）。 ・令和４年１月に大阪でシンポジウム・フェアを開催（来場者数2,080人）。 ・令和４年２月以降、計９か所でシンポジウム、フェアまたは展示を開催。 【令和４年度】 ・東京でシンポジウム・フェアを開催（令和４年４月から令和５年２月末まで、２箇所で開催）。 ・東京都以外でシンポジウム・フェアを開催（令和４年４月から令和５年２月末まで、６箇所で開催）。

農林水産省	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑥⑦⑧	6次産業化普及啓発委託事業	地産地消の優れた取組を表彰する「地産地消等優良活動表彰」の開催 【令和4年度】 「ディスカバー農山漁村の宝」に統合。	【令和3年度】 令和4年1月21日に表彰式を開催。 農林水産大臣賞　2点 文部科学大臣賞　1点 大臣官房長賞　3点 全国地産地消推進協議会会長賞　1点
農林水産省	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑱	地域食品産業携プロジェクト推進事業	【令和4年度】地域食品産業連携プロジェクト 地域の農林水産物が地域産業の中で有効活用されるように、地域の食品産業を中心とした多様な関係者が参画した地域食品産業連携プロジェクト（LFP）を構築して行う、社会的課題解決と経済的利益の両立を目指した持続可能な新たなビジネスモデルの創出を支援 （令和4年度予算額　192百万円）	【令和3年度】地域食農連携プロジェクト ・地域の農林水産物を活用した持続可能なローカルフードビジネスを創出するため、マッチング、プロジェクト経費を支援した。 ・LFPの組成や事業戦略の検討に関するコーディネーター派遣、クラウドファンディングの活用を支援した。 令和3年度に事業に取り組んだ道府県数：22
農林水産省	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑲	国産有機農産物等バリューチェーン構築推進事業	【令和4年度】 小売り等の事業者と連携した国産有機食品の需要喚起や消費者への情報発信を促すための民間事業者への研修等の取組を支援（農林水産省） （令和4年度予算額　８３７百万円のうち数）	【令和3年度】 ・有機農業・有機食品に関するワークショップの開催（計8回、9/21,9/22,9/28,11/12,11/13,11/14,1/8、1,156名） ・有機農業・有機食品表示制度に関する研修会の開催。（計7回、9/1,9/15,10/6,10/20,1/7,1/19,2/2、288名） ・有機加工食品に関する講習会の開催。（1回、2/16～28、80名）
農林水産省、消費者庁、環境省	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑲	「あふの環プロジェクト」の実施	・持続可能な生産消費を促進するため、勉強会・交流会、食と農林水産業のサステナビリティに関する情報発信を一斉に行う「サステナウィーク」の実施、「見た目重視から持続性重視」をテーマにした体験型展示を開催。 ・持続可能な食と農林水産業の取組動画を表彰する「サステナアワード」の実施。	【令和3年度】 ・プロジェクトの参加企業・団体数：145（令和4年1月時点） ・勉強会の開催回数：2回 ・サステナアワード応募総数92件のうち、特に優れた28の動画作品を表彰。農林水産大臣賞:1件。
消費者庁	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑲⑳	「倫理的消費（エシカル消費）」普及・啓発活動	【令和4年度】 地方公共団体や民間団体によるエシカル消費に関する普及活動の調査等を実施するとともに、先進事例等を紹介する各種イベント等への積極的な参画等、情報発信の取組を強化する。 （令和4年度予算額　１７百万円）	【令和3年度】 啓発用のパンフレット、ポスター、動画や学習教材等の学校や地域等での活用促進のほか、エシカル消費特設サイト内にサステナブルファッション特設ページを開設するなど情報発信の充実に向けた取組を行った。
消費者庁	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑳	食品ロス削減に係る取組	【令和4年度】 ・　食品ロスを削減することの重要性について、理解と関心を増進できるよう、資材の提供、教育、普及啓発を推進する。また、食品ロスに関する実態、先進的な取組や優良事例等を広く提供できるよう、情報収集や調査等を実施する。 （令和4年度予算額　４１百万円）	【令和3年度】 ・食品ロス削減推進法及び基本方針に基づき、食品ロス削減の取組を広く国民運動として展開していくことを目的とした「令和3年度食品ロス削減推進大賞」を実施した。（募集期間：令和3年6月4日～9月3日、応募総数：95件） ・食品ロス削減に向けた啓発活動の一環として、「「めざせ！食品ロス・ゼロ」川柳コンテスト」を実施した。（応募期間：令和3年10月1日～31日、応募総数：6,636件） ・農林水産省、環境省、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会と連携して、コンビニエンスストア等の小売店舗が消費者に対して、商品棚の手前にある商品を選ぶ「てまえどり」を呼びかける取組を実施した。 ・地域において食品ロス削減を推進する人材を育成するために「食品ロス削減推進サポーター」制度を創設した。
農林水産省	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑳	食品ロス削減に係る取組	【令和4年度】 食品ロス削減総合対策事業のうち商習慣の見直しの推進 ・食品事業者における商慣習の見直しに向けた検討・調査の支援 ・フードバンク活動の支援 （令和4年度予算額　123（70）百万円の内数）	【令和3年度】 食品ロス削減総合対策事業のうち商習慣の見直しの推進 事業系食品ロスの半減目標の設定や食品ロス削減推進法の施行を踏まえ、事業系の食品ロスを総合的に削減するため、個別企業等では解決が困難な納品期限の緩和など商習慣の見直しをさらに推進。 （令和4年度概算決定額　70（66）百万円の内数）
農林水産省	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑳	食品ロス削減に係る取組	【令和3年度補正】 フードバンク支援緊急対策事業 新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化により、子ども食堂や生活困窮者等へ食品を届きやすくすることが課題となっており、子ども食堂等へ食品の提供を行っているフードバンクの役割が重要となっていることから、フードバンク活動を通じた食品ロス削減を図るため、フードバンクに対して、食品の受入れ・提供を拡大するために必要となる経費を支援。 （令和3年度補正予算額　194百万円）	【令和2年度予備費】 国産農林水産物等販路多様化緊急対策事業のうち食品受入能力向上緊急支援事業（フードバンク支援事業） フードバンクにおいて、未利用食品の受入れ・提供体制を整備するために必要な運搬用車両、一時保管用倉庫（冷蔵庫・冷凍庫を含む。）、入出庫管理機器等の賃借料の経費を支援。 （令和2年度予備費 395百万円）

農林水産省	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑳	食品ロス削減に係る取組	・食品ロス削減国民運動のロゴマーク「ろすのん」の周知及び食品ロス削減に取り組む企業・団体等による積極的な活用の推進 ・食品ロス削減に向けた食品小売事業者や外食事業者における消費者啓発の推進 ・外食時の食べきりや食べ残しの持ち帰りに関する啓発	【令和3年度】 ・「ろすのん」の利用件数は、令和3年11月現在1025件。 ・食品ロス削減の啓発を行うための各種ポスター資材を掲示する食品小売事業者・外食事業者及び、これらポスターを活用して消費者への啓発に取り組む食品小売事業者・外食事業者へ食品ロス削減の普及啓発を呼びかける地方公共団体を募集し、159事業者、76地方公共団体の事業者・自治体名を公表。 ・家庭や外食時に食品ロスを減らすポイントについてまとめた啓発資材の提供や「外食時のおいしく「食べきり」ガイド」、飲食店等の食品ロス削減のための好事例集の周知等による啓発活動を実施。
環境省	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑳	食品ロス削減及び食品廃棄物等の3R推進事業費 （再掲）	【令和４年度】 ・食品ロス削減目標の達成に向けた、地方公共団体等との連携の下での食品ロスの削減 （令和４年度予算額　127百万円）	【令和3年度】 学校給食から排出される食品廃棄物の3Rの実施及び当該3Rの取組を題材とした食育・環境教育活動の推進策の検討や食品ロス削減の取組の普及啓発を行い、その効果検証を行った。
農林水産省	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等		畜産生産力・生産体制強化対策事業のうち国産飼料資源生産利用拡大対策	【令和４年度】 ・　国産飼料の着実な利用拡大により、飼料自給率の向上を図り、力強い畜産経営を確立するため、食品残さ等の未利用資源を飼料として利活用するための体制構築・実証の取組を支援する。 （令和４年度予算額　８５３百万円の内数）	【令和3年度】 ・農場残さ等の未利用資源の発生量、発生時期等について調査。 ・稲わらの活用事例の普及を図るためのセミナーを開催。 ・エコフィードを給与して生産された豚肉を学校給食に提供し、食育を実施。 ・エコフィードと食品ロスに関する教材を作成し、小学校で配布。 ・教材を配布した小学校で希望者を募り、エコフィード製造工場のオンライン見学を実施。 ・エコフィード製造事業者が、コスト低減等に資する実証を実施。 ・令和2年度の国産原料由来のエコフィード製造数量は約30万TDNトン（概算）。
農林水産省	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑲	みどりの食料システム戦略推進交付金のうちバイオマス地産地消対策	【令和４年度】 ・　メタン発酵後の残渣をバイオ液肥等として地域で有効利用するための取組を支援する。 （令和４年度予算額　837百万円の内数）	【令和3年度】 バイオ液肥の地域内利用を進めるため、バイオ液費散布車の導入やバイオ液肥の散布実証等を実施。 　バイオ液肥散布車の導入　５件 　バイオ液肥散布調査　５件 ・事例集の作成、展示会での頒布により、情報発信を行った。
農林水産省	5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	⑲	持続可能な循環資源活用総合対策事業のうち事業系食品廃棄物エネルギー利用対策調査事業	下水汚泥バイオガス化施設における食品廃棄物の混合利用を促進するため、食品廃棄物の前処理工程における高度化・効率化に向けた取組を支援する。	【令和3年度】 下水処理施設に食品廃棄物を投入する際の工程や下水処理施設に飲料用残渣を投入した際のバイオガスの発生状況など、2件の調査事業を実施。

６．食文化の継承のための活動への支援等

担当省庁	４次計画の関係項目①	４次計画の関係項目②	取組の名称	取組の内容（予算額等）	取組の実績
文部科学省	６．食文化の継承のための活動への支援等	㉑㉒	伝統文化親子教室事業	【令和４年度】 ・　次代を担う子供たちに対して、伝統文化等に関する活動を、計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供することにより、伝統文化を将来にわたって確実に継承し、発展させるとともに、子供たちの豊かな人間性を涵養する。 （令和４年度予算額　1,489百万円の内数）	【令和３年度】 「食文化・郷土料理」分野で12件採択
文部科学省	６．食文化の継承のための活動への支援等	㉑㉒	国民文化祭	【令和４年度】 ・　観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典を実施し、各種の文化活動を全国規模で発表、共演、交流する場を提供するとともに、文化により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、一層の芸術文化の振興に寄与する。 （令和４年度予算額　259百万円の内数）	【令和３年度】 令和３（2021）年10月30日から11月21日までの23日間にわたり開催された「第36回国民文化祭・わかやま2021」において、和歌山の食文化と芸能が一堂に会するイベント「わかやま食と芸能の祭典」、食文化としての湯浅の醤油醸造の魅力を発信するため、湯浅町の特産である醤油をメインとしたイベント、「ゆあさ醤(ひしほ)祭り」を開催した。
農林水産省	６．食文化の継承のための活動への支援等	③⑥⑦⑧⑨⑩⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉔	消費・安全対策交付金のうち地域での食育の推進	【令和４年度】 ・第４次食育推進基本計画に掲げられた目標達成に向けて、地域の関係者が連携して取り組む食育活動を重点的かつ効率的に推進する。その際、多世代交流や共食の場の提供等に関する取組、食育推進基本計画の重点事項であるデジタル化に対応した食育を優先的に支援する。 （令和４年度予算額　消費・安全局交付金のうち地域での食育の推進　2,041百万円の内数）	【令和３年度】 ・食育推進基本計画に掲げられる目標のうち、農林漁業体験機会の提供等当省関係の目標達成に向けて、地域の関係者が連携して取り組む食育活動を重点的かつ効率的に推進。 （令和３年度：食料産業・６次産業化交付金のうち地域での食育の推進）
農林水産省	６．食文化の継承のための活動への支援等	㉑㉒	「和食」と地域食文化継承推進事業	ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」を保護し、次世代に継承していくため、地域固有の多様な食文化の保護・継承を推進するとともに、子供たちや子育て世代に対して和食文化の継承を行う人材を育成する。	【令和３年度】 ・「うちの郷土料理～次世代に伝えたい大切な味～」では、新たに20都府県の情報をデータベース化し、地域固有の多様な食文化を保護・継承する取組を推進。また、和食文化の普及活動を行う中核的な人材を育成するため、研修会やオンラインイベントなどを開催し、取組を推進。 ※本事業は、今年度で廃止。
農林水産省	６．食文化の継承のための活動への支援等	㉑㉒	訪日外国人対応による輸出促進連携支援事業	【令和４年度】 食文化の多角的な価値の情報を、体系的に整理・調査し、国内外にわかりやすく情報発信を行うとともに、食文化の普及活動を行う中核的な人材の育成を支援する。 （令和４年度予算額　80の内数）	

7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進

担当省庁	4次計画の関係項目①	4次計画の関係項目②	取組の名称	取組の内容（予算額等）	取組の実績
内閣府 食品安全委員会	7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進	㉓	食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進	【令和4年度】 リスクコミュニケーションの実施 　意見交換会の開催や年誌の発行等を行い、食品安全委員会が行うリスク評価に関する科学的情報について、分かりやすく解説し国民一般に対して提供を行う。 （令和4年度予算額　24百万円）	【令和3年度】 　報道関係者を対象とした意見交換を開催したほか、地方公共団体、消費者団体、大学等の依頼に基づく講演、年誌「食品安全」第58号の発行等を行った。また、食中毒予防に関する動画等を作成し、食品安全委員会が行うリスク評価等の科学的情報を分かりやすく解説し、国民一般に対して提供した。
消費者庁	7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進	㉓	消費者安全に関する啓発の推進	【令和4年度】 ・　食品に係るリスクコミュニケーションの実施 食品の安全に関して、消費者が正しい情報に基づき適切な消費行動が出来るよう、消費者の関心が高いテーマを取り上げた意見交換会等を実施する。 （令和4年度予算額　63百万円）	【令和3年度】 食品に係るリスクコミュニケーションの実施 　食品の安全に関して、消費者が正確な情報を入手し理解を深め、自らの判断で適切な消費行動を行えるよう、オンライン形式も含めた意見交換会等のリスクコミュニケーションを推進した。（5件、参加者計3,119名）
厚生労働省	7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進	㉓	食品に関する情報提供や意見交換（リスクコミュニケーション）の推進	【令和4年度】 ・　食品安全に対する消費者の意識の高まりなどに対応するため、食品安全基本法や食品衛生法に基づき、消費者などへの積極的な情報の提供や双方向の意見交換を行う。 （令和4年度予算額9百万円）	【令和3年度】 ・意見交換会などの開催 　※関係府省庁と連携して開催したものも含む。 ・リーフレットやパンフレット等の普及啓発資材の作成 ・ウェブサイトやSNSにおける情報発信の実施
厚生労働省	7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進	⑪⑫⑬	国民健康・栄養調査の実施・結果の公表	・国民健康・栄養調査の実施・結果の公表 （令和4年度予算額　218百万円）	【令和3年度】 令和2年と3年については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により調査は中止。
文部科学省	7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進	⑨⑩㉑	現代型食生活のための食品成分情報取得・活用強化事業	【令和4年度】 ・日本食品標準成分表の改訂に向けた食品成分分析 （令和4年度概算要求額　72百万円の内数）	【令和3年度】関連する委託事業1件 【令和4年度】関連する委託事業1件
外務省	7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進	－	日本事情発信資料の作成	【令和4年度】 ・　日本食や日本の食文化の紹介も含めた海外向け日本事情発信誌や映像資料を作成する。 （令和4年度予算額　78百万円の内数）	【令和3年度】 ・日本食や日本の食文化の紹介を含めた海外向け日本事情発信誌や映像資料を作成し、在外公館において配布や放映を行い、また、海外のテレビ局で放映を行った。 ・ホームページ等を活用し、Web上での発信を行った。
外務省	7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進	－	国際連合食糧農業機関分担金（FAO）	【令和4年度】 ・　国連食糧農業機関（FAO）に対して分担金を拠出することにより、同機関が実施する食品の安全や栄養改善に関する事業や調査分析、情報収集等の取組へ貢献する。 （令和4年度予算額　4，567百万円の内数）	【令和3年度】 同機関が実施する食品の安全や栄養改善に関する事業や調査分析、情報収集等の取組へ貢献した。
外務省	7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進	－	在外公館文化事業	【令和4年度】 ・　在外公館が管轄地域における要人との人脈形成、対日理解の促進や親日層の形成を目的として、外交活動の一環として主催（共催）する総合的な日本文化の発信事業。 （令和4年度予算額　199百万円の内数）	【令和3年度】 ・中国：11月に福井市・杭州市友好都市30周年記念行事の一環として、杭州市において福井郷土料理イベントを開催。福井郷土料理のレクチャーや実演を通じて、福井の伝統文化・観光等に関する地域の魅力をインターネットでライブ配信した。 ・英国：11月に「和菓子文化：京菓子と郷土菓子」と題し、食文化としての「和菓子」を通じて、日本の地方の魅力を発信した。和菓子の歴史、西洋の食べ物との比較、和菓子と地域独自性、観光資源としての可能性等に関する講演や対談を実施した。 ・フィンランド：5～8月にかけて現地料理関係者及び一般市民を対象に、ユネスコ世界無形文化遺産としての和食をテーマに、その背景となる日本の文化・社会的慣習等についての解説、フィンランドの食材を使用した和食の調理の実演等の動画を作成、大使館SNSにより配信した。 　上記を含め計20件の事業を実施（2月末時点）。
外務省	7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進	－	国際連合世界食糧計画（WFP）拠出金（任意拠出金）	【令和4年度】 ・　国連世界食糧計画（WFP）への拠出を通じて国際的な連携・交流の促進及び飢餓や栄養不足の問題等に関する情報提供を行う。 （令和4年度予算額　540百万円の内数）	【令和3年度】 ・国連WFP協会（認定NPO法人）と連携し、食品ロスの削減、世界の飢餓に関するキャンペーン（ゼロハンガーチャレンジ）を実施した他、「こころのワクチン、私のごはん」をテーマとするチャリティーエッセイコンテストを開催した。 ・参考資料の作成・ホームページ掲載などにより、情報発信を行った。